
KMI Special Lecture

March 11-12, 2014

KMI Science Symposia (ES-635)

“ゲージ・ヒッグス統一模型の物理”

Nobuhito Maru
Osaka City University

Abstract:

ゲージ・ヒッグス統一模型は、標準模型ヒッグス場を高次元ゲージ場の余剰次元成分の一部とみなし、階層性問題を回避する高次元模型である。繰り込み不可能な理論にも拘らず、高次元ゲージ対称性のために有限に計算できる(calculable)物理量がいくつか存在し予言を与える。この講義では、現実的なゲージ・ヒッグス統一模型構築の基礎を説明し、予言可能な物理量についていくつか紹介する。

講義 1 : 3月11日午後1時～

講義 2 : 3月12日午前10時～